

2020年運用開始を目標にジャパンサーチの開発を進めているところであるが、関係機関や一般利用者から幅広く意見を収集する為、2019年1月を目途に試験公開版の一般公開を目指している。
実務者検討委員会を運用主体とすることで、年に3回程度の開催である実務者検討会議でジャパンサーチに関する議論をより深堀し、また構成員メンバーが、積極的にジャパンサーチの開発・運用に関われるよう新たな仕組みを検討する事が目的。

- ジャパンサーチ(試験公開版)は、正式版の公開及び次の体制が整うまでの間、実務者検討委員会を運営主体とする。
- ジャパンサーチ(試験公開版)の開発について、座長の下、実務者検討委員会のメンバーから有志を募り、非公式の形で打合せを行い、案を検討し、実務者検討委員会に諮ることが出来る。
 - ◆ システム開発上、座長が専門的な知識が必要だと判断した場合、外部有識者を招き助言を受けることが出来る。
 - ◆ システム開発上、迅速な判断が必要な場合は、実務者検討委員会構成員に対して、メール等の手段で通知し承認を得ることが出来る。
- 正式版公開時の運用体制は、実務者検討委員会において検討・構築する。

ジャパンサーチ(試験公開版)開発の流れ

